



能楽フェスティバル  
2017  
-  
2020

# 第4回シンポジウム

〜2020東京オリンピックピック〜

パラリンピックへ向け、能楽の未来を展望する

狂言「萩大名」シテ野村 万蔵

半能「絵馬 女体」シテ香川 靖嗣

パネルディスカッション

パネリスト／観世 清和  
〔能楽師シテ方観世流二十六世宗家〕

宝生 和英  
〔能楽師シテ方宝生流二十世宗家〕

観世 鍊之丞  
〔能楽師シテ方観世流・能楽協会理事長〕

司会／野村 萬斎  
〔能楽師狂言方和泉流〕

日時 平成31年1月23日(水)  
18:30～20:30(開場17:45)

会場 国立能楽堂

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1  
Tel:03-3423-1331



**アクセス**  
JR中央・総武線「千駄ヶ谷駅」より徒歩5分  
都営地下鉄大江戸線「国立競技場駅」より徒歩5分  
東京メトロ副都心線「北参道駅」より徒歩7分  
※駐車場がございませんのでお車でのご来場はご遠慮下さい。



歴史の中で息づく能楽...



▲前田斉泰(加賀前田家13代)による「能楽」の額。現在の「能楽」の言葉の起こりである。

主催：公益社団法人能楽協会  
共催：一般社団法人日本能楽会 後援：東京都  
協賛：独立行政法人日本芸術文化振興会(国立能楽堂)

▲靖国神社能楽堂  
明治維新で存続の危機にあった能楽の再興シンボルとして、岩倉具視や旧公家・旧藩主らによる「能楽社」が設立され、芝公園内に能楽堂(現行の能楽堂建築の第一号)が落成。その後、靖国神社に奉納・移転。

能楽が「次代に繋げ、伝えるものとは」を思考し、未来への新たな展開を目指して開催するシンポジウムの第4弾。スポーツと文化の祭典であるオリンピック・パラリンピックを翌年に控えた今回は、多角的な議論が交わされた過去開催の総括として、能楽界を代表する演者によるパネルディスカッションを実施。

「能楽の普遍的価値」「オリンピックを軸とした文化の力」「能楽の国際化」など、これまで論じられてきたテーマや、今後のビジョン等を踏まえ、第一線で活躍する能楽師が、能楽界の未来や熱い想いを語り合います。

能楽の未来への確かな伝承と、能楽の持つ限りない可能性、多くの皆様と考えていきたいと思えます。

司会

野村 萬斎  
観世 鏡之丞  
宝生 和英

パネルディスカッション

笛 小鼓 大鼓 太鼓 後見頭

香川 靖嗣  
内田 成信  
金子敬一郎  
宝生 欣哉  
則久 英志  
御厨 誠吾  
藤田 貴寛  
観世新九郎  
國川 純  
桜井 均  
狩野 了一  
中村 邦生

シテ(天照大神)  
ツレ(天鈿女命)  
ツレ(手力雄命)  
ワキ(臣下)  
ワキツレ(従者)

絵馬 女体

狂言(和泉流)

萩大名

シテ(天名)  
アド(太郎冠者)  
アド(茶屋)

野村 万蔵  
野村万之丞  
能村 晶人

番組



**観世 清和** [能楽師・観世流二十六世宗家]

1959年生。1990年宗家継承。国内公演はもとより海外公演、及び「箱崎」「阿古屋松」などの復曲、「利休」「聖パウロの回心」など新作能にも意欲的に取り組む。重要無形文化財総合指定保持者。2012年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。1999年フランス芸術文化勲章シュバリエ、2015年紫綬褒章など受章。



**宝生 和英** [能楽師・宝生流二十世宗家]

1986年生。2008年宗家継承。伝統的な演出に重きを置く他、異流共演多数出演や復曲、公演演出なども行う。2016年東アジア文化交流使に任命され、香港・イタリアをはじめとした、海外文化活動にも力を入れている。重要無形文化財総合指定保持者。



**観世 鏡之丞** [能楽師・能楽協会 理事長]

1956年生。国内外の数多くの舞台に参加し、現代音楽の武満徹の能舞「水の曲」に出演するなど、古典を越えた世界でも幅広く活躍。重要無形文化財総合指定保持者。2008年度日本芸術院賞受賞。2011年紫綬褒章受章。



**野村 萬斎** [能楽師]

1966年生。国内外で多数の公演に参加する一方、現代劇や映画・TVドラマの主演、古典の技法を駆使した舞台作品の演出等幅広く活躍。重要無形文化財総合指定保持者。東京2020オリンピック・パラリンピック開閉会式のチーフ・エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター就任。

**入場料(全席指定)**

正面・脇正面・中正面(前方)

**3,000円**

中正面(後方)

**2,020円**

**500円・キャッシュバック**

学生(26歳以下の全日制学生)は、当日会場にて、お一人様500円をキャッシュバック致します。  
※当日、確認できる証明書等をご持参下さい。受付は、会場入口付近となります。  
※キャッシュバックは、当日会場に来られた方に限ります。

**チケット申込(★印…ネット販売あり)**

平成30年11月9日(金)午前10時より発売開始

- ◇国立能楽堂 窓口販売のみ
- ◇チケットスペース 03-3234-9999(有人対応)
- ◇カンフェティ★ 0120-240-540(有人対応)[平日 10:00-18:00]
- ◇チケットぴあ★ 0570-02-9999[Pコード 490-028]  
ぴあ セブン-イレブン 全国各店舗

**◎前売りチケット販売期間**

平成30年11月9日(金)～平成31年1月20日(日)

※チケットスペースのみ1月16日(水)までの販売となります。  
※上記を過ぎてからのチケットのご購入については、当日券になります。  
但し、販売期間にかかわらず、チケットが売り切れ次第、販売を終了させていただきますので予めご了承下さい。

※上演中の撮影・録音・録画は固くお断り致します。 ※上演中はアラーム及び携帯電話の電源はお切り下さい。 ※出演者は都合により変更させて頂く場合がございます。予めご了承下さい。  
※開場前のご来館につきましては、能楽堂館外にてお待ち頂きます。 ※座席は一部関係者席として使用致します。

主催・問合せ先 **公益社団法人能楽協会** TEL:03-5925-3871(平日10:00~16:00) <http://www.nohgaku.or.jp/>

※能楽協会では、チケットの販売を致しておりません。上記チケット申込先にてお求め下さいますようお願い申し上げます。